

## 調査報告書

〔2021年版ローラー系部品マーケット総覧〕

『コストと品質が命綱となった  
ローラー系部品業界の未来』

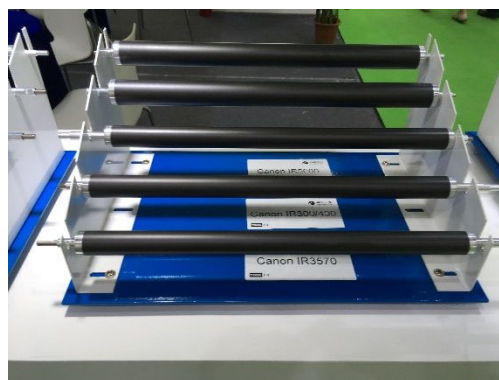
=生き残りをかけた選択の時代が始まる=



< 新生富士フィルムビジネスイノベーション、  
A3 カラーMFP のフラッグシップモデル Apeos C8180 >



< 在宅勤務・在宅学習の拡大で海外ではプリンタ、コピー、  
スキャナの 3in1 モデルが堅調に推移／ブラザー DCP-L2550DW >



< アフター市場も、競争が激化 >

2021年4月



日・中・米・欧の市場調査  
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

## I. 調査テーマ

### 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』

＝生き残りをかけた選択の時代が始まる＝

## II. 調査主旨

事務機業界はコロナ禍に翻弄された 2020 年からようやく回復の兆しを見せている。各社のハードウェアの販売は回復基調で推移しており、MFP のプリントボリュームは 2019 年比で 80～90% のレベルに戻りつつあると言われている。ただ、テレワークの世界的な普及は構造的に事務機の需要を減少させていくものであり、これからの数年で事務機各社の生き残り競争が本格化していくことは間違いない。

事務機用ローラー／ベルトメーカーにとっても、今後の数年は正念場となる。全体需要の減少に加え、価格競争も激しさを増しており、競争激化の結果として、ローラー／ベルトビジネスは薄利ビジネス化が進んだ。そして、近年は、中国の部品メーカーがコストを武器に台頭してきており、価格下落に拍車をかける状況も生まれている。事務機業界を取り巻く環境が厳しさを増す中、自動車や半導体など事務機以外のコア事業を抱える大手メーカーにとっては、ローラー／ベルトビジネスはノンコア事業として整理の対象になることも十分考えられる状況である（実際、ここ数年で数社が事業撤退を決めた）。

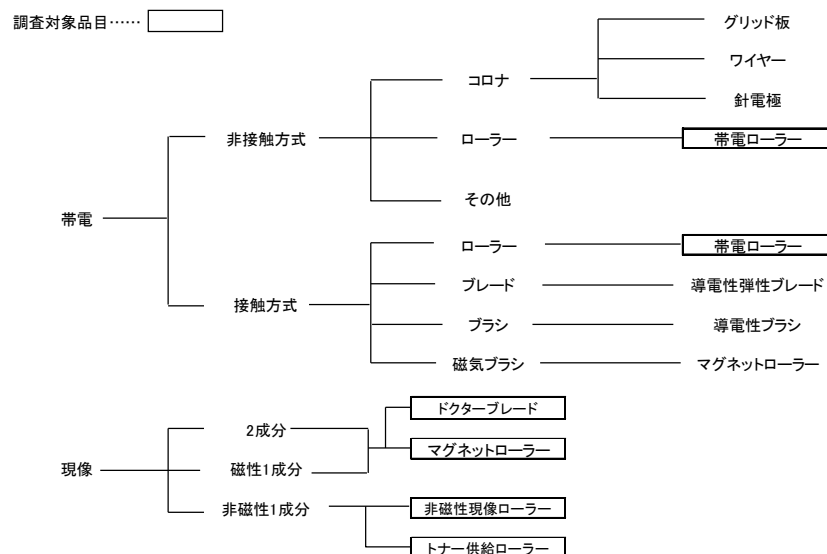
市場の成熟スピードが加速する中で、ハードメーカーは今後もコスト最優先の部品調達戦略を押し進めざるを得ない。ただ、最終的には、コスト力だけでなく、高い技術力に裏打ちされた信頼性に優れるメーカーに需要は流れていくとみられる。複写機やプリンタは様々なすり合わせ技術により全体の動作を調整しており、このすり合わせ技術を支えるのが個々の部品の信頼性に他ならないからである。この点、設計、製造、加工といった“ものづくり”全般でコストと品質の両立を求めてきた日本のローラー／ベルトメーカーが生き残る余地は十分にある。

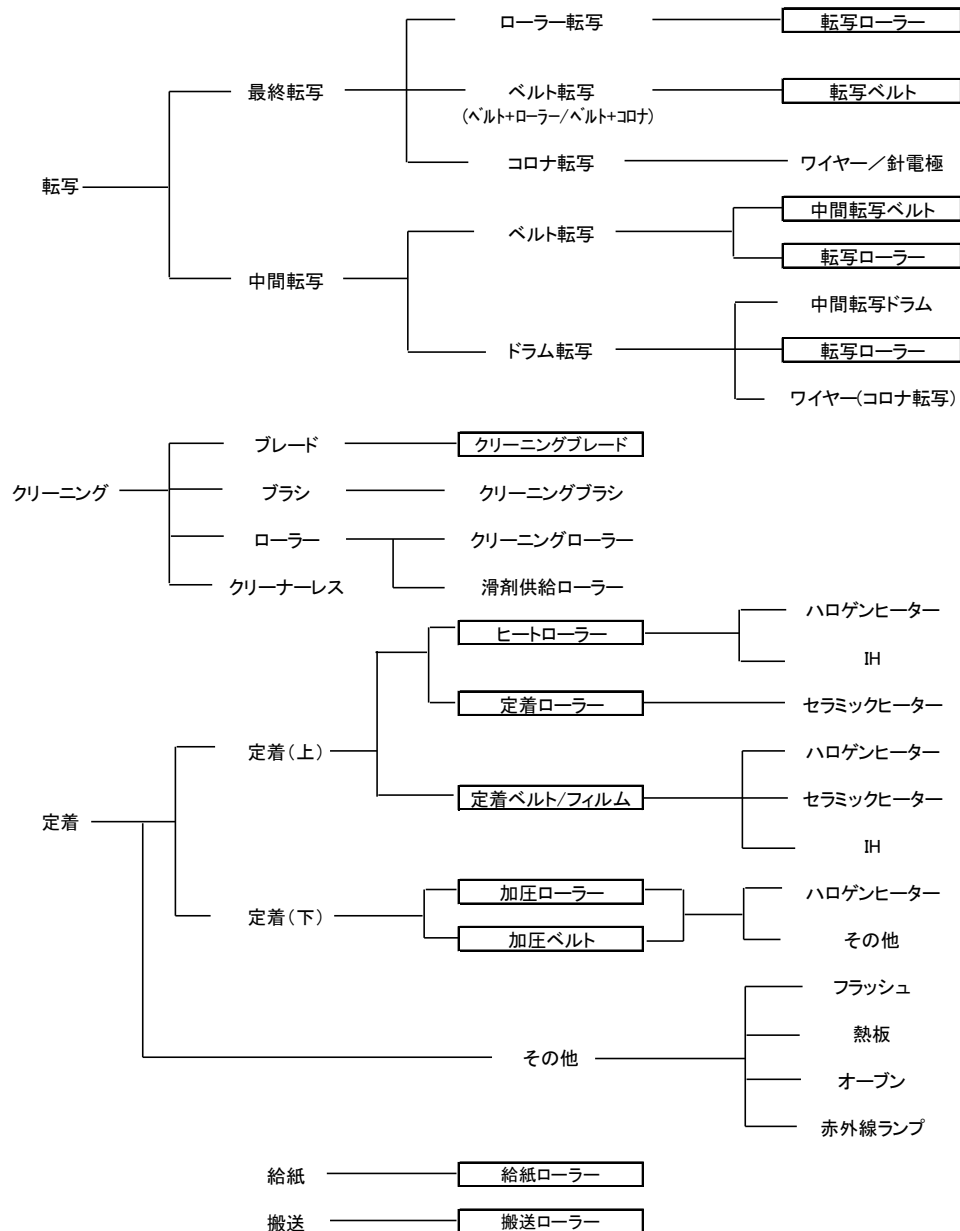
本レポートでは、帯電、現像、転写、定着、クリーニング、給紙・搬送といったプロセス部材別に国内外の専門メーカー、及び内製メーカーの現状と今後の戦略を調査・分析するものである。今回はローラー系部品マーケット総覧の 16 回目の刊行にあたり、各社が大打撃を受けた 2020 年の出荷動向と 2021 年以降の出荷予測を詳細にレポートしていく。このレポートが業界関係者にとって今後の戦略立案の一助となることを願います。

### 日系ローラー専門メーカー、中国・韓国系ローラーメーカー・内製メーカーを詳細分析

## III. 調査対象品目と調査対象先

### 1. 調査対象品目





## 2. 調査対象先

- 2-1. ローラー専門メーカー：日本メーカー(32社)／韓国メーカー(10社)／中国メーカー(54社)／香港メーカー(1社)／台湾メーカー(2社)／その他(6社)／内製メーカー(6社) (合計 111社)
- 2-2. システムメーカー(主要 14社)：複写機メーカー／プリンタメーカー

## IV. 調査範囲及び調査方法

- 1. 調査範囲：調査対象範囲は2018年～2024年とする。
- 2. 調査方法：1) 調査対象先メーカーへの直接訪問面接調査 (WEB調査含む)  
2) 公開されている文献、資料、統計などの分析及び調査  
3) 弊社に蓄積されているデータの活用

## V. 調査形態、調査期間、他

- 1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
- 2. 調査期間：2021年3月～4月
- 3. 調査報告書刊行日：2021年4月22日
- 4. 提出報告書：A4判製本(CD付)or pdf
- 5. 価格：440,000円 (消費税込み)
- 6. 調査担当：山本 幸男／吉田 晃介／針生 正史  
(TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、ホームページ：http://www.datasupply.jp/  
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp)

《目次》

[調査結果の要旨]

A. 分析編

A-1. 機能性部品（主要13品目）の全体市場動向	1
1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向（2018年～2024年）	
2. プロセス別出荷本数・出荷金額（2020年）	
3. ローラーメーカーの出荷金額シェア（2020年）	
A-2. 部品別市場動向	4
1. 出荷本数（2018年～2024年）	
2. 出荷金額（2018年～2024年）	
3. 用途別市場動向（2020年/2024年）	
4. サイズ別市場動向（2020年/2024年）	
5. 材料別市場動向（2020年/2024年）	
6. 部品別技術、材料動向	
7. 価格動向、寿命	
8. ユニット化への対応	
9. プロダクションプリンタと大判プリンタ用部材の出荷状況	
10. 部品別メーカー別生産拠点	
11. ローラー系部品の参入メーカー一覧	
12. システム別使用部品点数	
13. プロセス別メーカーの最新動向	
13-1. メーカー別プロセス概要全体	
13-2. プロセス別メーカー動向	
13-3. 個別メーカー最新動向	
キヤノン/リコー/富士フイルムビジネスイノベーション（旧富士ゼロックス）/コニカミ	
ノルタ/シャープ/東芝テック/京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/	
沖データ/村田機械/HP Printing Korea/レックスマーク/Pantum/Lenovo/Deli	
A-3. ハードウェアの出荷動向	38
1. ハードウェアの方式別出荷台数（複写機/プリンタ）	38
2. 2020年のハードメーカー別方式別出荷台数	39
2-1. 複写機の出荷台数	
2-2. レーザー/LEDプリンタの出荷台数	
A-4. 中国及び東南アジア地域におけるシステムメーカー/部品メーカーの生産拠点	41

B. 部品別市場編 49

形状図と材料、製造工程、使用本数/メーカー別市場動向、技術動向、価格、供給関係、工場

[1]帯電ローラー/[2]現像ローラー:[2]-1. 現像部合計/[2]-2. マグネットローラー/[2]-3. 非磁性現像ローラー/[3]トナー供給ローラー/[4]転写ローラー/[5]中間転写ベルト/[6]定着ローラー/ベルト:[6]-1. 定着部合計/[6]-2. 加圧部合計/[6]-3. ヒートローラー/[6]-4. 定着ベルト/[6]-5. 加圧ローラー/[6]-6. 加圧ベルト/[7]クリーニングブレード/[8]給紙ローラー/[9]搬送ローラー

C. 個別メーカー編 177

C-1. 国内専業メーカー（50音順） 177

<共通調査項目>ローラー系部品の売り上げ高(複写機・LBP向け/ATM向け/インクジェットプリンタ向け)/出荷本数・出荷金額（2018年～2024年予測）/用途別サイズ別出荷本数・出荷金額（2018年～2024年予測）/材料別出荷本数・出荷金額（2018年～2024年予測）/技術及び材料の動向/価格動向・寿命/材料購入先/供給先一覧/国内外の生産拠点

[1]I.S.T/[2]荒井製作所/[3]イノアック/[4]NOK/シンジーテック/[5]カネカ/[6]錦城護謨/[7]金陽社/[8]グンゼ/[9]昭和電線ケーブルシステム/[10]信越ポリマー/[11]住友ゴム工業/[12]住友電気工業/[13]住友理工/[14]TDK/[15]東邦ゴム工業/[16]日星電気/[17]ニッタ化工品/[18]日東電工/[19]NEOMAXエンジニアリング/[20]バンドー化学/[21]日立金属/[22]フコク/[23]ブリヂストン/[24]明治ゴム化成/[25]ヤマウチ

C-2. 内製メーカー 596

[1]キヤノン/[2]リコー/[3]富士フイルムビジネスイノベーション（旧富士ゼロックス）/[4]コニカミノルタ/[5]東芝テック/[6]京セラドキュメントソリューションズ

C-3. 海外専業メーカー 608

[1]Ah-Sung Chemical（韓国）/[2]Foshan Ascend Precision Accessories（中国）/[3]Galaxia Device（韓国）/[4]Jahwa Electronics（韓国）/[5]Sang-A Frontec（韓国）/[6]Shenzhen Fancy Creation Industrial（中国）/[7]Shenzhen LEPUTAI Technology（中国）/[8]Taejin Precision（韓国）

C-4. その他メーカー 625

[1]日本メーカー/[2]海外メーカー

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

分析編		転写	定着	クリーニング
キヤノン	モノクロ	ベルト+ローラー: 高速PPC(60ppm~) ローター: 上記以外 ローラー: 中低速PPC、プリンタ	Bロ-ラー+加圧ローラー: 高速PPC(60ppm~) 定着フィルム+加圧ローラー: 中低速PPC、プリンタ	ブレード
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	ヒートローラー+加圧ベルト+カラーPP(25μm/レンジ) 非ベルト+加圧ベルト+カラーPP(15μm/レンジ) 非ベルト+加圧ローラー: 高速PPC(60ppm) 定着フィルム+加圧ローラー	ブレード: PP、中高速PPC、プリンタ クリーニング: 高速PPC
リコー	モノクロ	コロナ: PP、高速PPC/プリンタ ローラー: 上記以外	定着ベルト+加圧ヒートローラー	
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	ヒートローラー+定着ベルト+加圧ヒートローラー	
富士フイルム ビジネス インベーション	モノクロ	ローラー	ヒートローラー+加圧ヒートローラー	
	カラー	中間転写ベルト+ベルト+PP、高速PPC 中間転写ベルト+ローラー: 上記以外	定着ベルト+加圧PP/非ベルト+加圧ヒートローラー	
コニカミノルタ	モノクロ	ベルト: PP/高速PPC(120~136ppm) ローラー: 中低速PPC、プリンタ	定着ローラー+加圧非ベルト+加圧ヒートローラー	
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	定着ベルト+加圧ヒートローラー+加圧ヒートローラー	
シャープ	モノクロ	ベルト: 90ppm以上 ローラー: 75ppm以下	定着ベルト+加圧ヒートローラー	
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	定着ベルト	
東芝テック	モノクロ	ベルト+ローラー: 高速ローラー: 中低速PPC		
	カラー	中間転写ベルト+ローラー		
東芝 ドキュメント ソリューションズ	モノクロ	ベルト: 高速PPC ローラー: 中低速PPC、プリンタ		
	カラー	中間転写ベルト+ローラー		
ブラザー工業	モノクロ	ローラー		
	カラー	直接転写		
沖データ	モノクロ	ローラー		
	カラー	中間転写: A3高速機/カラー直接転写: 上記以外		
村田機械	モノクロ	ローラー		
	カラー	-		
HP Printing Korea	モノクロ	ローラー		
	カラー	中間転写ベルト+ローラー		
レックスマーク	モノクロ	ローラー		
	カラー	中間転写ベルト+ローラー		
Pantum	モノクロ	ローラー		
Lenovo	モノクロ	ローラー		
Dell	モノクロ	ローラー		

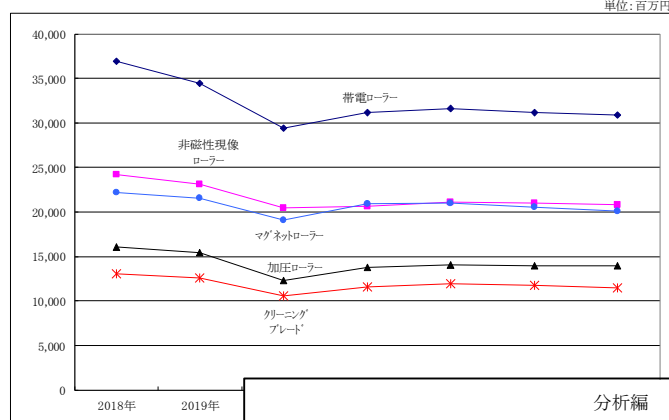
## 分析編

### 7. 価格動向、寿命

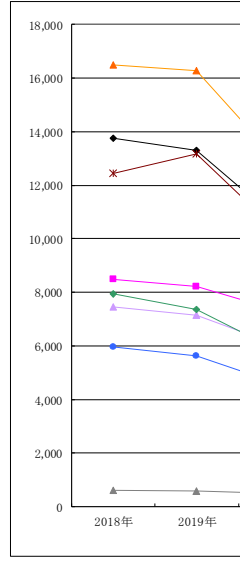
部品	主要製品価格 (円)	寿命(万枚)
帯電ローラー	EPDM : 150~200 (A4), 270~300 (A3)	5~40
	シリコンゴム: 150~190(A4), 270~300(A3)	5~40
	シリコン樹脂/シリコン樹脂: 200 (A4), 300~350 (A3)	5
マグネットローラー	焼結フェライト: 10,000~(A2), 15,000~(連続機用) シリコン樹脂/シリコン樹脂 (シリコンなし): 70~120 (A4), 180~200 (A3) (シリコン付き): 270~500 (A4), 300~700 (A3)	永久部品
	シリコン樹脂/シリコン樹脂 (シリコンなし): 50~70(A4), 80~110 (A3) (シリコン付き): 240~250 (A4), 325~600 (A3) (シリコン付き): 3,000~5,000円 (プロダクション)	

## 分析編

折れ線グラフ<出荷金額の推移>



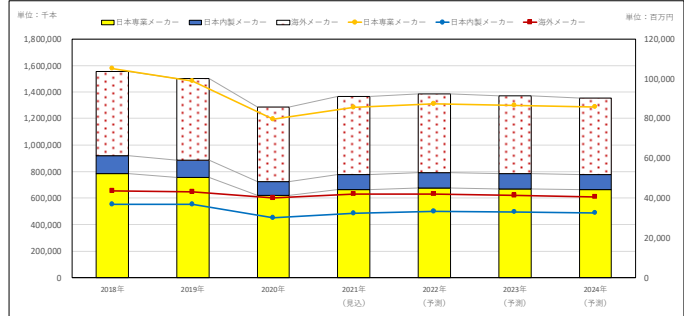
0.1~30
0.2~20
0.3~3
3~20
3~10
10~60
5~60
15~60
10~60
20~50
20
5~20
5~30
30,100 以上
5~30
5~30
複機: 100~
5~20
0.6, 100(100以下)
5~25
30~60



## 分析編

A. 分析編  
A-1. 機能性部品(主要13品目)の全体市場動向  
1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向(2018年~2024年)

出荷先	2018年	2019年	2020年	2021年(推定)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)	
				数量	%	数量	%	数量	%	数量	%
出 荷 本 数 (千 本)	専業メーカー										
	内製メーカー										
	日本メーカー合計										
	海外メーカー合計										
	合計										
出 荷 金 額 (百万円)	専業メーカー										
	内製メーカー										
	日本メーカー合計										
	海外メーカー合計										
	合計										



2020年における機能性部品(主要13品目)の合計出荷本数は対前年比85.8%の12億8,830万本、出荷金額は同83.7%の1,497億円。日本メーカーと海外メーカーの比率は、出荷本数ベースでは前者が全体の56.3%(専業メーカー:48.1%、内製メーカー:8.2%)、後者が同43.7%、出荷金額ベースでは前者73.3%(専業メーカー:53.2%、内製メーカー:20.1%)、後者26.7%となった。同年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、複写機・プリンタの機能性部品も各社が大幅な減少を強いられた。用途別では、在宅勤務や在宅学習向けなどで需要が拡大したローエンドプリンタ用部品についてはそれ程大きな落ち込みはなかったが、オフィス向けの複写機や中高速プリンタ用部品はこれまでにない大幅な落ち込みとなった。2021年以降の市場見通しも厳しい見方が大勢を占める。新型コロナウイルスの感染拡大は長期化の様相を呈しており、先進国を中心にテレワークも定着しつつある。このような状況下で、複写機・プリンタの市場においては本体・サービスパーツともに需要回復が遅れており、機能性部品の出荷も従来の規模には戻っていない。全体需要が縮小するなか、部品メーカーにおいても安定的な事業運営が困難となっており、その将来見通しは極めて不透明な状況になりつつある状況といえるであろう。

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

キヤノン

C-2. 内製メーカー  
[1] キヤノン  
1. 全体状況  
1) 出荷本数/出荷金額の推移(2018年~2024年)

年	2018年	2019年	2020年	2021年 (見込)	2022年 (予測)	2023年 (予測)	2024年 (予測)
帯電ローラー							
マグネトローラー							
非磁性現像ローラー							
トナー供給ローラー							
転写ローラー							
中間転写ベルト							
定着ベルト							
加圧ローラー							
クリーニングブレード							
対前年比							

出荷本数(千本)

出荷金額(百万円)

2020年の総出荷本数前年から15~20%の減少がキヤノンは部品内製、その他の一部部材で、出荷金額は今後も20%の減少が予想される。

(A社の事例)

1. 全体状況  
1) 出荷本数/出荷金額の推移(2018年~2024年)

年	2018年	2019年	2020年	2021年 (見込)	2022年 (予測)	2023年 (予測)	2024年 (予測)
帯電ローラー							
非磁性現像ローラー							
転写ローラー							
ヒートローラー							
定着ベルト							
加圧ローラー							
クリーニングブレード							
給紙ローラー							
搬送ローラー							

出荷本数(千本)

7. 供給先一覧

部品メーカー	荒井製作所	NOK/シンジテック	キヤノン	金陽社	ケイアールシステム 昭和電線	信越ポリマー	住友電気工業	東邦ゴム工業	日星電気	フコク	リコー	Fancy	Taojin
キヤノン													
リコー													
富士フイルムビジネスイノベーション													
コニカミノルタ													
シャープ													
京セラ・キヤノンソリューションズ													
東芝テック													
HP (HP Printing Korea)													
キヤノン													
ブラザー工業													
沖データ													
富士フイルムビジネスイノベーション													
京セラ・キヤノンソリューションズ													
リコー													
コニカミノルタ													
村田機械													
HP (HP Printing Korea)													
シンドー													
レックスマーク (Ninestarグループ)													
その他													

供給先

△...少量

単位: 千本

2020年の総出荷本数前年から15~20%の減少がキヤノンは部品内製、その他の一部部材で、出荷金額は今後も20%の減少が予想される。

加圧ローラー

[6]-5. 加圧ローラー  
1. 出荷本数(2018年~2024年)

メーカー	2018年	2019年	2020年	2021年 (見込)	2022年 (予測)	2023年 (予測)	2024年 (予測)
荒井製作所							
NOK/シンジテック							
金陽社							
昭和電線							
ケイアールシステム							
信越ポリマー							
住友電気工業							
東邦ゴム工業							
日星電気							
フコク							
個票分小計							
対前年比							
*キヤノン							
*東芝テック							
*リコー							
*Shenzhen Fancy Creation (中国)							
*Shenzhen LEPUTAI (中国)							
*Taojin Precision (韓国)							
*Enbi (米国)							
*サードパーティ他							
個票外小計							
対前年比							
合計							
対前年比							

単位: 千本

\*...用途別・材料別出荷本数/出荷金額の対象外

- 2020年の出荷本数は対前年比81.1%の3,628万本、本体需要の減少と長寿命化によるサービスパーツ需要の減少により、毎年じわじわと減少していたが、コロナ禍に見舞われた2020年はこれまでにない大幅な減少となった。2021年は反動増により大幅な増加となるが、2022年以降も2019年以前の数量規模には戻らない可能性が高い。
- 日本の卒業メーカーでは、昭和電線がトップ。以下、日星電気、金陽社、NOK/シンジテックが続く。キヤノンのメインサプライヤーの1社であった住友電工は2020年をもって加圧ローラー市場から撤退し、住友電工の生産分は昭和電線、金陽社の2社が引き継いだ。
- その他の日本メーカーでは、信越ポリマーはカラー複写機向けを中心に今後数年は大幅増を計画している。荒井製作所はキヤノンのプリンタ向けが大幅に減少している。フコクは沖データ向けのみであるが今後大幅に減少していく。東邦ゴムはブラザー向けを中心に需要維持を目指す。
- 内製メーカーはキヤノンのみ。同社はA4モノクロプリンタ向けを月1~2万本程度を生産していたが、今後は外注100%にする可能性が高い。リコーはヒートローラーと同様に、加圧ローラーの製造設備を外部業者に売却し、外注に切り替え、2019年で生産を終了した。
- 韓国のTaojin PrecisionはHPPK向け。2020年は微減にとどまった。
- 中国のFancyはキヤノン、リコー、HPPK向けなどで実績がある。今後さらなる数量拡大を目指しているが、複写機向けなどでは未だ技術的なハードルが高く、日本勢とは差がある。同じ中国のLEPUTAIはより少量。
- Enbi(米国、工場は中国)はHPPK向け中心。キヤノン向けも少量あり。
- その他のメーカーとしては、Abex Precision Industrial(中国: 広東省珠海市)、Anhui Zhongding Rubber-Plastic Products(中国: 安徽省寧国市)、Anno Technologies(中国: 広東省中山市)、Beijing Harwei Office Equipment Parts Factory(中国: 北京市)、Beijing Laser Hi-Technology(中国: 北京市)、Dong Bang Silicone(韓国)、Foshan Yat Seng Office Supplies(中国: 広東省佛山市)、Fuser Tech Korea(韓国)、Guangzhou Jinghui Office Equipment(中国: 広東省広州市)、GH OA Parts(中国: 北京市)、Hebei Chunfeng Yinxing Rubber Roller(中国: 河北省藁州市)、KB Roller Tech(ドイツ、工場はタイ)、Kogon Technologies(中国: 広東省中山市)、Lanjie Parts(中国: 北京市)、LBT Office Supplies Limited(中国: 広東省佛山市)、Senton Science & Technology(中国: 浙江省永康市)、Shendong Precision Industrial(中国: 広東省珠海市)、Shenzhen Jianuoja High-Precise Technology(中国: 広東省深圳市)、Zhongshan Syntech Technologies(中国: 広東省中山市)、珠海市晟旺精密五金有限公司(中国: 広東省珠海市)。

# 株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（刊行日・価格の変更があります）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F  
 TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204  
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp  
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2021年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
<b>《 定期刊行物 》</b>						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年
<b>《 2021年刊行予定物 》</b>						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/26 予定	日 英	
新レポート *2021年版 『出力機器関連機材ハンドブック』	¥200,000	3/24	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥400,000	4/22	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	6/25 予定	\$6,000	8/24 予定	日 英	
* 2021年版[MIF マーケット総覧]	¥400,000	8/26 予定	\$4,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/26 予定	\$5,000	12/15 予定	日 英	
* 2021年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート） 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/22 予定	— —	—		
<b>《 2020年刊行物 》</b>						
* 2020年版[感光体マーケット総覧]（292頁） 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥500,000	2/26	\$5,200	4/17	日 英	
* 2020年版緊急レポート（コロナショックと業界大規模再編） 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の地域別メーカー別分析』（240頁）	¥300,000	4/24	\$3,000	6/19	日 英	
* 2020年版[ローラー系部品マーケット総覧]（651頁） 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥400,000	5/26	\$4,000	11/25	日 英	
* 2020年版[トナーマーケット総覧]（582頁） 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥600,000	7/28	\$6,000	10/23	日 英	
（新レポート）* 2020年版[MIF マーケット総覧]（501頁） 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	9/28	\$4,000	12/23	日 英	
* 2020年版[インクジェット印刷マーケット総覧]（366頁） 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	11/26	\$5,000	2021. 2/26	日 英	
* 2020年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート）（626頁） 『新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力』 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/23	— —	—		
<b>《 その他の刊行物 》</b>						
* 2014年版[企業便覧シリーズ]（128頁） 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編（810頁）、写真データ（535頁） 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		